

米国弁護士資格試験 日本で学位取得可能

米国公認会計士など国際資格の取得支援をしている株式会社アビタス(東京都)は、米国フロリダ・コースタル・スクール・オブ・ロー(FCSL)と提携し、国内法学士取得者を対象に、「米国弁護士コース」第2

期を今年1月23日より開講。アビタスは「日本国内で、働きながら、学位取得と受験対策が可能」とする。米国弁護士試験(Bar Exam)は、全米法曹協会が認定するロースクールにおける、法学博士ないしは法

学修士(LL.M.)の学位を取得した上で、各州の実施する試験を受験することになる。ただ、カリフォルニア州では、日本の弁護士資格及び弁理士資格を持っている場合は、法学の学位なしで、受験条件を満たす。

「米国弁護士コース」は、FCSLの教授陣による講義をeラーニングで配信する「オンラインLL.M.取得プログラム」と、全米シェアNo.1の大手受験対策校Barbriの教材を使用した日本人講師による講義「(カリフォルニア州の)Bar対策コース」を平行して、12〜18カ月で学習する。

「米国弁護士コース」の費用は約200万円。日本の弁護士もしくは弁理士の有資格者は約90万円の「Bar対策コース」のみの受講も可能。法学士の学位、もしくは弁理士資格(弁理士資格)を持っていること、TOEICで800点程度の英語力があることが条件となる。

問い合わせ先はアビタス「弁護士コース」☎03-3299-3330。